

II 平成26年8月豪雨災害(礼文島)への派遣

○23日から24日にかけて、道北地方を中心に激しい雨が降り、礼文島では1時間降水量41.0mm、24時間降水量183.0mmを観測するなど、50年に一度の大雨となった。これにより礼文島では、17棟の家屋被害が発生。

○発災直後から、(1)リエゾンによる北海道及び礼文町等(1道6市町)との連絡調整を実施。

○災害対策用ヘリコプターによる、(2)上空からの被災状況調査を実施。

○北海道開発局からTEC-FORCEを派遣し、(3)被災状況調査、(4)被災箇所の監視支援を実施。

➤ TEC-FORCE : のべ83人・日派遣(8月24日～9月1日)



上空からの被災状況調査



土砂災害により全壊した住宅



土砂災害による道道の途絶

被災箇所の監視支援



小型画像伝送装置(Ku-sat)による被災箇所のリアルタイム配信

現地踏査による被災状況調査



入船川の被災状況調査



被災した町道の状況調査

調査結果の報告



礼文町長への調査結果報告